



市公式キャラクター
たっぴー☆☆

平成30年
8月15日
No. 1005

人口と世帯数 (平成30年8月1日現在)	
人口	男 29,240
	女 29,251
	計 58,491
世帯数	30,567

まちの写真ニュース

市内在住の井上祥希さんが第16回七夕織姫グランプリに受賞されました!



今号の主な記事

2面 市役所パートタイマー募集 3面 不法投棄は犯罪です 4面 福祉センター設備改良工事のお知らせ
5面 出張「子育てなんでも相談」 6面 Oh! My Baby!!～自慢のお子さんを紹介します～ 7面 熊川分水に親しむ講座 8面 保健ガイド

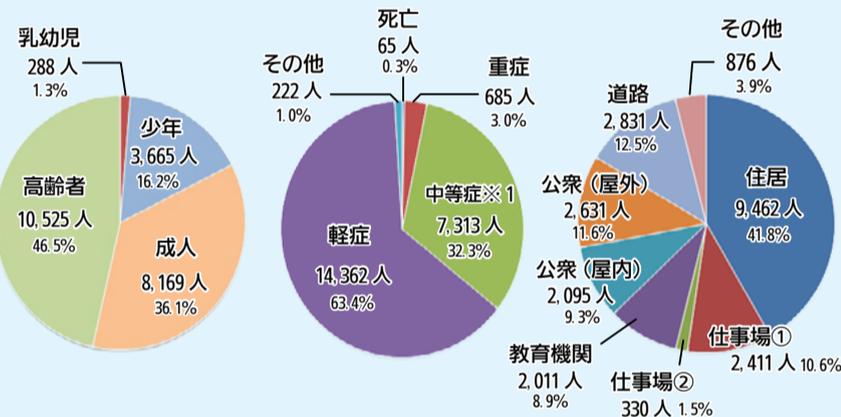
知っておきたい 熱中症のこと

1. 数値で見る熱中症

総務省の調査によると、熱中症で搬送される約8割が高齢者と成人です。また、患者の約4割が入院診療を必要とする傷病を患っていることから、熱中症と疑わしい場合には、迅速な対応が必要です。

さらに、熱中症と聞くと屋外で発症するイメージがありますが、実際に搬送される患者の内、約5割の人が住居や駅、飲食店などの屋内で発症しています。

▼全国の熱中症による救急搬送状況 (7月16日～22日)



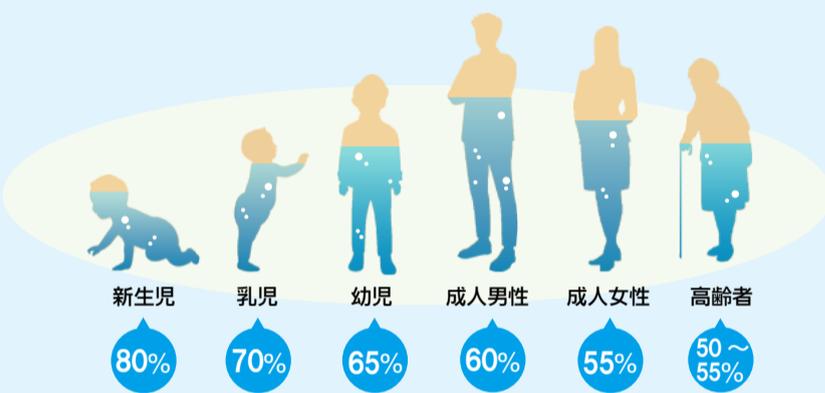
※1 傷病程度が重傷または軽症以外のもので入院診療を必要とするもの
出典：総務省消防庁「熱中症による救急搬送人員数(7月16日～7月22日速報値)」より引用

2. のどが渇く前に水分補給を!

高齢者が熱中症にかかりやすい理由の一つに体内の水分量が挙げられます。加齢とともに身体の中の水分量は徐々に減少していき、のどの渇きを感じにくくなることで、若年者と同程度に発汗した場合でも、脱水症状に陥りやすくなります。

のどの渇きが起こらなくても、早め早めに水分補給をすることで、熱中症の予防になります。

▼体に含まれる水分量(水分量)



出典：環境省「熱中症環境保健マニュアル2018」より引用・改変

3. 子どもは熱中症になりやすい

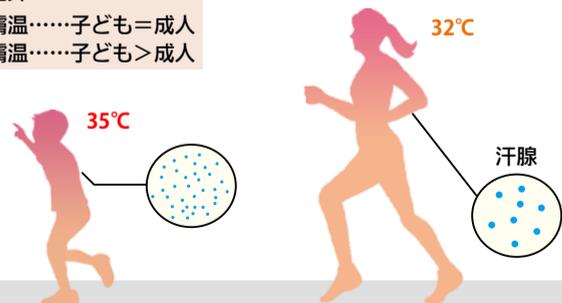
思春期前の子どもは汗をかく汗腺が大人と比べて小さく、汗をかきづらいため、体温調整が十分にできません。

また、子どもの身体は大人よりも熱しやすい特徴があり、真夏の炎天下では、子どもは大人よりも体温が上がりがちですが、うまく放熱できないため、熱中症にかかりやすくなります。

さらに、子どもは身長が低いため、地面の熱を受けやすく、大人が感じる暑さ以上に、高温の環境にいるため注意が必要です。

子どもの熱放散特性

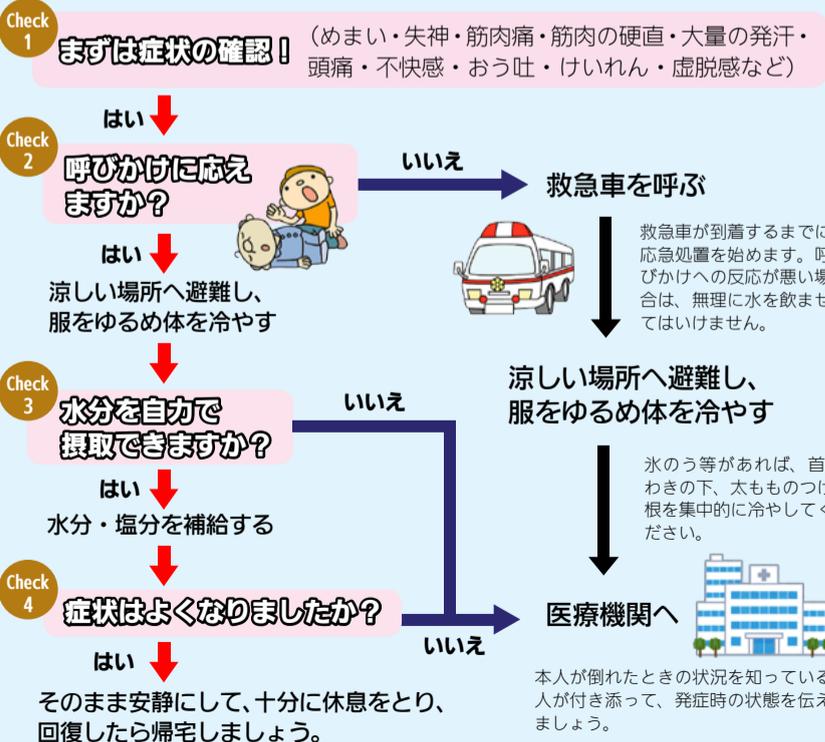
深部体温の上昇
環境温<皮膚温……子ども=成人
環境温>皮膚温……子ども>成人



出典：環境省「熱中症環境保健マニュアル2018」より引用・改変

4. 覚えておきたい4つの確認

周りの人が熱中症になった時に備えて、次のことを確認してください。



出典：環境省「熱中症環境保健マニュアル2018」より引用・改変

